

START Box 2025



01 START Boxとは	03
START Boxのあゆみ	04
2025年度アトリエ利用アーティスト一覧	05
02 START Box ササハタハツ 2025	06
2025年度利用アーティスト紹介	08
2025年度オープンアトリエ(地域交流イベント)	12
03 START Box お台場 2025	14
2025年度利用アーティスト紹介	16
2025年度オープンアトリエ(地域交流イベント)	17
04 START Box 白鬚 2025	18
2025年度利用アーティスト紹介	20
2025年度オープンアトリエ(地域交流イベント)	21
05 作品発表の機会	22
MEET YOUR ART FESTIVAL 2025	23
START Box EXHIBITION vol.4-vol.5	24
06 START Box 白鬚(稽古場) 2025	26
2025年度稽古場利用アーティスト	28

01 START Box とは

アトリエや稽古場等を確保することが難しい若手アーティストに創作場所を提供し、継続的な活動を支援する、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の事業です。2023年に都営住宅等の空き店舗を活用したアトリエ「STARTBox ササハタハツ」、「START Box お台場」、2026年1月にはアトリエに加えてSTART Box 初となる稽古場を併設した「START Box 白鬚」をオープン。これまでアトリエは延べ71名、稽古場は延べ12団体が利用しており、オープンアトリエ等による地域やアーティスト同士での交流や、文化イベントによる作品発表の場の提供なども行っています。



START Boxのあゆみ

※2023年1月～3月 期間限定のプレ事業「START Box Roppongi」開設
(主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京)

2023年	4月	START Box ササハタハツ 開設 2023年度 1期 利用開始	
	6月	オープンアトリエ開催 第1回 ササハタハツ	
	7月	2023年度 2期 利用開始 ササハタハツ	
	8月	オープンアトリエ開催 第2回 ササハタハツ	
	9月	オープンアトリエ開催 第3回 ササハタハツ	
	10月	2023年度 3期 利用開始 ササハタハツ MEET YOUR ART FESTIVAL 2023 出展	
	11月	START Box お台場 開設 2023年度1期 利用開始 オープンアトリエ(アトリエツアー)開催 第4回 ササハタハツ	
	12月	オープンアトリエ開催 第5回 ササハタハツ	
	2024年	1月	2023年度 4期 利用開始 ササハタハツ
		3月	START Box EXHIBITION vol.1 開催 オープンアトリエ開催 第6回 ササハタハツ 第1回 お台場
		4月	2024年度 1期 利用開始 ササハタハツ・お台場
		6月	オープンアトリエ開催 第7回 ササハタハツ
7月		2024年度 2期 利用開始 ササハタハツ	
9月		START Box EXHIBITION vol.2 開催 オープンアトリエ開催 第8回 ササハタハツ 第2回 お台場	
10月		2024年度 3期 利用開始 ササハタハツ 2024年度 2期 利用開始 お台場 MEET YOUR ART FESTIVAL 2024 出展	
11月		オープンアトリエ開催 第9回 ササハタハツ	
2025年		1月	2024年度 4期 利用開始 ササハタハツ
	2月	START Box EXHIBITION vol.3 開催	
	3月	オープンアトリエ開催 第3回 お台場 第10回 ササハタハツ	
	4月	2025年度 1期 利用開始 ササハタハツ・お台場	
	6月	オープンアトリエ開催 第11回 ササハタハツ	
	7月	2025年度 2期 利用開始 ササハタハツ	
	8月	START Box EXHIBITION vol.4 開催	
	9月	オープンアトリエ開催 第4回 お台場 第12回 ササハタハツ	



10月 2025年度 3期 利用開始 ササハタハツ
2025年度 2期 利用開始 お台場

MEET YOUR ART FESTIVAL 2025 出展

11月 オープンアトリエ開催 第12回 ササハタハツ

2026年 1月 START Box 白鬚(アトリエ) 開設|2025年度 1期 利用開始
START Box 白鬚(稽古場) 開設|2025年度 1期 利用開始
2025年度 4期 利用開始 ササハタハツ

3月 START Box EXHIBITION vol.5 開催
オープンアトリエ開催 第5回 お台場
第13回 ササハタハツ
第1回 白鬚



2025年度 アトリエ利用アーティスト一覧

START Box ササハタハツ

2025年度

1期|2025.4.11-6.29

國分 蘭(写真)

山田 ゆり(インスタレーション)

真鍋 美祈(メディアアート)

小林 誠一(絵画)

2期|2025.7.9-9.26

大久保 迪子(絵画)

馬淵 一樹(絵画)

笹原 花音(メディアアート)

1・2期

齊藤 隆嗣(インスタレーション)

Mikiko Kamada(インスタレーション)

3期|2025.10.7-12.25

早田 憲康(絵画)

イム ジェヨン(絵画)

中村 隆行(メディアアート)



2・3期

加藤 芙実(メディアアート)

4期|2026.1.6-3.26

unu(絵・立体・詩・動画)

松浦 美桜香(絵画)

すずきあゆみ(絵画)

大谷 理佳子(インスタレーション)

3・4期

森川 瑛久(絵画)

野中 美里(絵画)

START Box お台場

2025年度

1期|2025.4.11-9.26

尾形 凌(絵画)

2期|2025.10.7-2026.3.26

篠原 奏(デザイン)

START Box 白鬚

2025年度

2026.1.6-3.26

石井 亨(工芸・染色)

ノセユイ(絵画)

まちだりな(メディアアート)

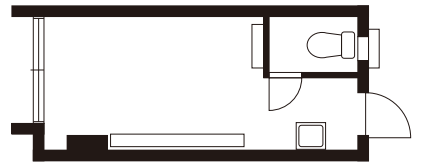
佐藤 ことみ(インスタレーション)



02 START Box ササハタハツ 2025



笹塚・幡ヶ谷の水道道路沿いにある都営住宅の空き店舗を活用し、作品づくりのための環境を求めるアーティストを対象に、利用しやすい料金で貸し出しています。全室個室で冷暖房・Wi-Fi完備、集中できる環境でありながら、道路に面しているので解放感もある環境です。



笹塚 | 縦:約6.1m、横:約2.5m、天井高:約2.6m [約17㎡] 計3区画
 幡ヶ谷 | 縦:約5.5m、横:約2.5m、天井高:約2.4m [約15㎡] 計3区画
 [その他の主な設備]
 冷暖房設備、トイレ、流し台、Wi-Fi、24時間機械警備



笹塚

東京都渋谷区笹塚二丁目42番
 都営笹塚二丁目アパート42-15号棟
 ・京王線「笹塚駅」から徒歩約6分

幡ヶ谷

東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目52番
 都営幡ヶ谷二丁目第2アパート52-1号棟
 ・京王新線「幡ヶ谷駅」から徒歩約7分



START Box ササハタツ 2025年度1期2期



國分蘭アトリエ



山田ゆりアトリエ



眞鍋美祈アトリエ



小林誠一アトリエ



齊藤隆嗣アトリエ

1期 | 2025.4.11-6.29

笹塚

國分蘭

こくぶんらん | 東京と北海道を拠点にフリーランスのフォトグラファーとして活動。地理的、歴史的な境界をテーマに作品を制作する。主な展覧会に「Looking for Herring」(天神山アートスタジオ、札幌)、「In the Pool」(KG+五条坂京焼き登り窯、京都)、「Behind the Terrain」(Yogyakarta, Hanoi, 東京の巡回展)、「Yukisnowschnesneg」(Atelier Alen, Munich)など。海外のアートフェアにも出展。



山田ゆり

やまだゆり | 東京都出身。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程在籍。個人が認識する「社会」の変容を主題に、国内外でのフィールドワークやインタビューを通してインスタレーション作品を制作。主な展示に「狭間」(ベルリン日独センター、2024)、「差異をまなざす vol.4 COMPASS」(ミュンスター美術アカデミー、2024)。



「群衆」2018年、project「Looking for Herring」より



「Ich bin da/ I am here/ 私はここにいる」2024年

幡ヶ谷

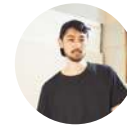
眞鍋美祈

まなべみのり | 東京都生まれ。言語表現と人間の視点と身体性に着目した作品制作を主軸とし、誰もが身体を通して楽しみ、物事をとらえ直すことのできる体験の創出を目指している。個展に「multi-lingua-body」(公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [スタートアップ助成])、受賞歴にSICF20 ワコールスタディホール 京都奨励賞など。東京大学工学部機械工学科卒業、同大学大学院学際情報学府学際情報学専攻先端情報表現コース卒業。



小林誠一

こばやしせいいち | 1994年新潟生まれ。南オーストラリア大学卒業。シルクスクリーンを用いて制作過程や道具、材料の使われ方そのものを示す絵画を制作している。個展「Space and Improvisation」(FEFTspace、アデレード、2021)、グループ展「Open your eyes, close, close, close」(高架下 Site-A ギャラリー、2023)などに参加している。また2023年には韓国清州にて滞在制作を行なった。



「multi-lingua-body」2021年



「無題(清州)」2023年
二合韓紙、エナメル

1・2期

笹塚

齊藤隆嗣

さいとうたかつぐ | 1998年東京都生まれ。東京藝術大学大学院絵画専攻修了。政治哲学や幼少期の記憶を手がかりに、架空のファウンドオブジェクトやインスタレーションを制作。絵画や立体、グラフィックなど多様なメディアを通じて、異界とそこに至る手段、そこに居る私たちの振る舞いや関係性の再考を促す。近年の主な展示に個展「It's Only a Paper Moon」(Art Studio KYOK、2023)、グループ展「1998_oid」(LURF gallery、2025)など。



「The Caucus Race」2024年
field spell / printed on paper

幡ヶ谷

Mikiko Kamada

千葉大学大学院園芸学研究科博士課程修了、博士(農学)。「植物とヒトの関係性」の再構築、都市における土と植物の重要性を研究しながら、ネイチャーポジティブな都市環境の構築を目指し活動。2020年には初個展「(in) visible forest」(ギャラリー Art for Thought、銀座)を開催。目に見えない生命たちを可視化する試みを実現した。大阪万博シグネチャーパビリオン「いのちの冒険」にてプロデューサー河森正治との共同作品「無限メタモルフォーゼ」を展示。



「無限メタモルフォーゼ」2025年

2期 | 2025.7.9-9.26

笹塚

大久保迪子

おおくぼみちこ | 1989年群馬県生まれ。慶應義塾大学卒業後にIT企業に勤めた後、多摩美術大学造形表現学部で油彩を学ぶ。「三菱商事アート・ゲート・プログラム」第37・39・41回入選。「ピクトリーブーク展」(佐藤美術館、2020)に出品。ナカジマアート(東京)、高島屋(大阪・横浜)、松坂屋(上野)で個展を開催。現在のテーマは鑑賞者の「刺激となる作品」を制作することで、「抽象」や「具象」に縛られない制作をしている。鑑賞者の経験や思いを重ねてもらい、作品や制作者とのやり取りをきっかけに新しい視点生まれ、日々の生活の刺激となるような作品を目指す。



「ゆらぎ」2024年
キャンバスに油彩

馬淵一樹

まぶちかずき | 1992年東京都生まれ。2019年東京藝術大学大学院美術研究科G専攻修了。自己保全や人間の回復について制作。個人的視点を絵画として展開を試みる。受賞歴に「第6回宮本三郎記念デッサン大賞展」特別賞(2021)、「上野の森美術館大賞展」優秀賞(2023)。主な展示歴に、個展「旅行」(JUNGLE GYM、東京、2023)や「色とペー ジュ」(ROUTE GALLERY、東京、2024)など。



「うつむいたばか」2024年、油彩

幡ヶ谷

2期

笹原花音

ささはらかおる | 1997年東京都生まれ。東京都立工芸高等学校卒業。普段から目にする日常のオブジェクトをデフォルメし、機能性を消失させることによって、空間や生活環境における構成の再解釈を見る人へ与える作品を制作している。主な展示歴に、「RELAX FOREST」(FIGURE 17-15 cas、東京、2023)、「PARCO Opens New Dimension 2023」(渋谷 PARCO、2023)など。海外でのグループ展にも参加し、作品の発表を続けている。



「Super Chair Series #2」2022年
鉄、プラスチック

2・3期

加藤美実

かとうふみ | 1985年東京都生まれ。ライプツィヒ美術大学マスターシューラー課程修了。複数の人が知らぬ間に共有している空間や物語などに着想を得て、映像作品を中心に制作・発表している。2024年よりドイツから日本に拠点を移し活動している。主な展示歴に「SEILAKT III-VI. On a Razor's Edge」(Museum of Fine Arts Leipzig、ライプツィヒ、2020)、「Lumbung Lounge」(Stellwerk Gallery、カッセル、2022)、「STATES OF UNCERTAIN DOMESTICITIES」(Haus Kunst Mitte、ベルリン、2025)など。



「Travelogue」2019年
ミクストメディアインスタレーション

START Box
ササハタツ
2025年度3期4期



早田 憲康アトリエ



イム ジェヨンアトリエ



森川 礎久アトリエ



unuアトリエ



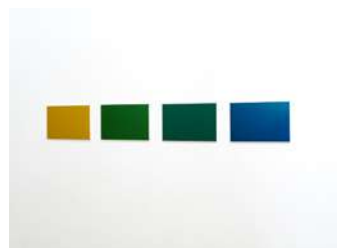
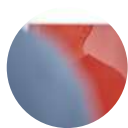
大谷 理佳子アトリエ

3期 | 2025.10.7-12.25

笹塚

早田 憲康

そうだのりやす | 1984年長崎県生まれ。主な活動に「Au 79 - Scheiße & Gold」(BOA-basedonart、Düsseldorf Germany、2023)、「OUT OF SILENCE」(CONCEPT SPACE、群馬、2021)、「BILD für BILD」(ANMO ART、Düsseldorf Germany、2018)、「Vuoto occidentale/orientale」(galleria gentili、Firenze Italy、2017)など。



「Study for 4 Landscapes」2025年

イム ジェヨン

1995年ソウル生まれ。梨花女子大学西洋画科を卒業後、同大学院にて修士課程を修了。現在は東京を拠点に活動する洋画家。Gallery COSOにて個展《Harmony in Discord》(2023)を開催し、パリのAsia Now(2023)をはじめ国内外の展覧会に参加。作品は神話的モチーフを出発点に、人間の欲望や無意識を探求し、「隠蔽と脱隠蔽」という造形的手法を用いた油彩作品を発表している。



「VENUS」2022年
oil on canvas



すずきあゆみアトリエ



松浦美桜香アトリエ



中村 隆行アトリエ

幡ヶ谷

中村 隆行

なかむらたかゆき | 1986年東京都生まれ。東京電機大学大学院理工学研究科情報学専攻修了。東京を拠点にシステムエンジニア・プログラマーとして就労する傍ら、プログラミングでコンピューター音楽作品、オーディオビジュアル作品を制作し、Instagramに作品を投稿している。主な受賞歴にKinomural2025ファイナリスト、International Computer Music Conference (ICMC) 2012入選がある。



「Increase in Entropy」2025年

3・4期

笹塚

森川 礎久

もりかわさく | 2001年東京都生まれ。2025年多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業。主な展示に「部屋1」(下北沢アーツ/東京/2024)、「ブルーピリオド×ArtSticker vol.1」(アートかビーフンか白厨/東京/2024)、「grid3」(biscuit gallery/東京/2024)、「MEET YOUR ART FESTIVAL 2023」(B&C HALL/東京/2023)。受賞歴に「第41回 上野の森美術館大賞展」入選(2023)、「ACTアート大賞展 2023」優秀賞(2023)、「FACE2023」入選(2023)など。



「Room Woman」2025年
Oil and oil pastel on cotton

幡ヶ谷

野中 美里

のなかみさと | 2020年武蔵野美術大学 大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。主な受賞に、シェル美術賞展2017 新藤淳審査員賞(2017)、月刊美術新人デビュー グランプリ(2019)、ARTISTENEWGATE avex賞(2021)、第25回雪梁舎フィレンツェ賞展優秀賞(2023)、「アートオリンピア2024」入賞(2024)。主な個展に「ネリネを束ねていく」新宿高島屋10階 美術画廊(2023)



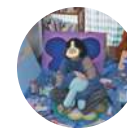
「ともっていく」2024年
油彩、テンペラ

4期 | 2026.1.8-3.27

笹塚

unu

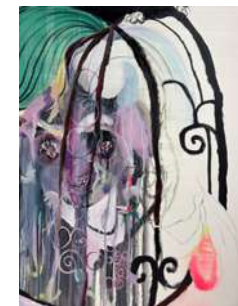
1997年生まれ。人間社会の中で生きることに違和感を持ちつづけ、ある時から自分が宇宙から来て地球留学をしているような感覚を持つようになる。強く惹かれてきた心理学・東洋思想・生理学などの世界を通じて、この曖昧な世界にこの心身をもって生きることについて深めた思想を歌や絵、立体造形、言葉、イベントなどに転換し、自身や他者の「内なる自然」を呼び覚ますための装置 = recaller として制作をしている。



「いのちたち」2025年

松浦美桜香

まつうらみおか | 2001年東京都生まれ。多摩美術大学卒業。布を用いた立体作品やそれらをモチーフとした絵画を制作。作品が自立し、命を宿していくような過程に着目しながら表現を行う。主な受賞にGEISAI#22&classicタカノ綾賞(2023)、AATM2025ゲスト審査員薄久保香賞(2025)、CAF賞2025グランプリ(2025)。主な個展に「Une 妙」(Changting gallery、2023)、「The scene of beautiful blossoms」(hidarijinnngaro、2023)。

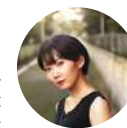


「my place」2025年
oil on canvas

幡ヶ谷

すずきあゆみ

静岡県出身。高校卒業後、秋田県で過ごし、2011年に東京へ拠点を移す。油絵と陶芸の経験を背景に、現在はミクストメディアによる表現の可能性を探っている。近作は鶴見パブリックアートプロジェクトでの壁画制作当、CLUB CITTA'での大型ビルボード掲出に参加など。また、兵庫県のアーティスト・イン・レジデンス企画では、皮革素材と絵画表現を融合させる試みを行い、素材と身体感覚の関係性をテーマに制作を行った。



「wet buleuelueclue」2025年

大谷 理佳子

おおたりにかこ | 1998年兵庫県生まれ。2024年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了。生活の中で感じる違和感や不思議さから、身近なものを素材として、立体、歌、映像を用いたインスタレーション作品を制作している。主な展示歴に「wave」(ヨコスカアートセンター、神奈川、2025)「令和5年度東京藝術大学卒業・修了作品展」(東京藝術大学、東京、2024)「大福」(銷猫ギャラリー、東京、2021)など。主な受賞歴に「ヨコスカアートアワード2024」自由表現プランングランプリ(2024)「第7回新世代賞」観客賞(2023)など。



「夢」2024年

**START Box
ササハタハツ
2025年度
オープンアトリエ**

START Boxでは、地域交流イベントとしてオープンアトリエ等を定期的に行っています。各アーティストは地域住民等に向けて、アトリエを公開し、訪れた方々と交流することで新たな視点を得ています。また、地域の方々も、普段の生活では触れる機会の少ないアートに刺激を受け、相互の交流の機会となっています。

第11回 オープンアトリエ 2025.6.1



第12回 オープンアトリエ 2025.9.23



第13回 オープンアトリエ 2025.11.9



同日開催の「北浜Run Runフェスタ2025 サテライトイベント」に参加
「バッグを实らせよう! ~トートバッグ塗り絵ワークショップ~」
トートバッグに描かれたフルーツのイラストに色をぬり、世界にひとつだけのオリジナルバッグをつくるワークショップを開催。
[講師]野中美里



第14回 オープンアトリエ 2026.3.15

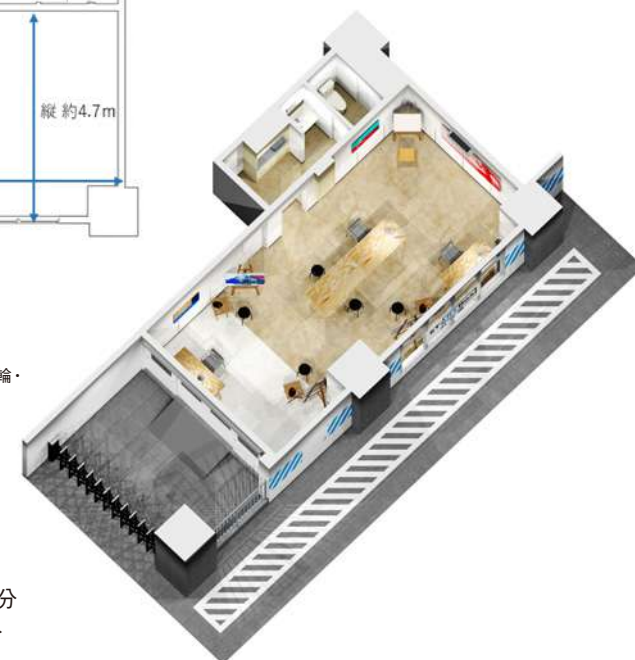
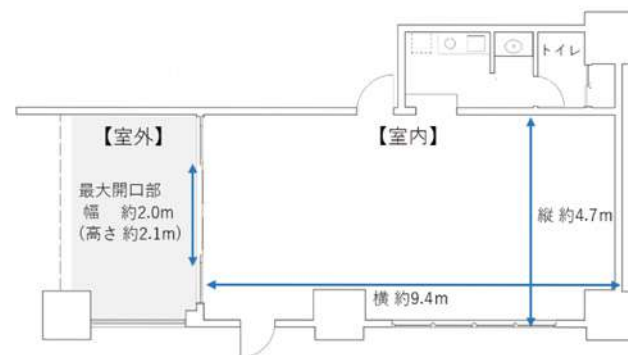




03 START Box お台場 2025

STARTBox
お台場

東京都住宅供給公社と連携して、お台場の公社住宅にある空き店舗を活用した創作スペースです。広いスペースを自由に利用できるため、グループでの創作や大型作品の制作に利用いただけます。



縦：約9.4m、横：約4.7m、天井高：約2.5m [約57㎡]
 ※最大開口部 幅：約2.0m、天井高：約2.1m
 [その他の主な設備]
 冷暖房設備、トイレ、流し台、Wi-Fi、24時間機械警備、自動二輪・
 自転車置場

東京都港区台場一丁目5番4号
 トミンハイム台場五番街4-101
 ・ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」から徒歩約3分
 ・りんかい線「東京テレポート駅」から徒歩約7分



START Box
お台場
2025年度1期
2025.4.11-2025.9.26

尾形 凌

おがたりょう | 2001年4月東京都生まれ。2020年4月東京藝術大学美術学部先端芸術表現科入学、2024年3月学部卒業、東京藝術大学先端芸術表現科修士1年在籍。現代における妖怪や不可視の存在たちを作品の主題とし、絵画や立体、アニメーションなどを通じて表現している。加えて妖怪と人間の狭間やあの世とこの世の狭間に存在する世界を描く事でそれらを可視化することを試みている。



「百鬼夜行図」2025年
和紙に墨・水彩絵の具

第4回 オープンアトリエ 2025.9.13



START Box
お台場
2025年度2期
2025.10.7-2026.3.26

篠原 奏

しのはらかな | 1997年東京都生まれ。グラフィックデザイナー・アーティスト。秋田公立国際教養大学を経て、東京造形大学デザイン学科卒。デザイン・サーヴェイヤーリサーチによってその場所・モノ・ヒト(の歴史)から収集したものを、体感覚を通してさまざまな手法で表現する。主な展示・参加プロジェクトに「PUSH FOR CREATION」(相鉄線天王町駅~星川駅の高架下やビル壁面、神奈川、2024)、「ふくしデザインゼミ展」(AKITEN八王子、東京、2023)



「繭」(2023)
竹籤、針金、和紙、半紙、羊毛、テグス、ピアノ線、クッション、毛糸

第5回 オープンアトリエ 2026.3.14

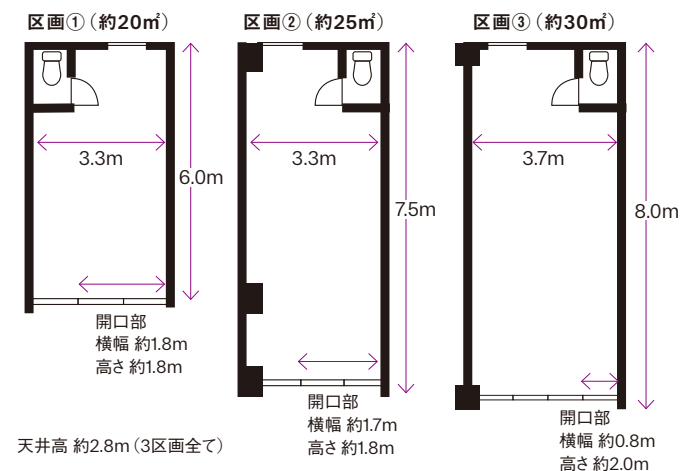




04 START Box 白鬚 2025

STARTBox
白鬚

墨田区堤通にある都営住宅の空き店舗を活用した創作スペースです。
交流スペースもご利用いただけます。



【その他の主な設備】
冷暖房設備、トイレ、流し台、Wi-Fi、24時間機械警備、仮設壁（釘打ち可能）



東京都墨田区堤通二丁目3-2
都営白鬚東アパート
・東武伊勢崎線「東向島駅」から徒歩約12分



START Box
白鬚
2025年度

2026.1.6-3.26

石井 亨

いしいとおる | 染色家。
2014年、東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻博士後期課程修了。日本の伝統的な染色技法である糸目友禅染を再考しながら、『伝統工芸の革新』『現代美術の批評性』『デジタルとアナログ』『現代の浮世絵』『時間』『意識』をテーマに据え、ステイニングによる染色絵画作品を制作する。主な個展にSokyo Atsumi(東京/2024)、主なグループ展に「札幌国際芸術祭2024」(北海道近代美術館/札幌/2024)、「JAPAN: Myths to Manga」(Young Victoria and Albert Museum /ロンドン/2024)。また東京藝術大学美術館、北海道近代美術館、Morikami Museum(マイアミ)、Victoria and Albert Museum(ロンドン)に作品が収蔵されている。



Photo: PICZO



「黄土色地草花禽獣文様」
羽二重絹に糸目友禅染、酸性染料、銀箔、木製パネル

ノセユイ

筑波大学芸術学学位プログラム洋画領域を修了後、花卉業界に就業。植物の形や伸び方、植生・地形に関心を持つ。植物と執心、生命力をテーマに、漫画制作と並行して言語表現を用いた絵画制作を行なっている。2025年第43回上野の森美術大賞展入選。



「祈りの碟」2024年
キャンバスにアクリル・木炭・オイルパステル

まちだりな

美術家・映像作家。東京藝術大学大学院映像研究科修了。もどかしい身体、環境の揺らぎといったことを側に置き、映像、ドローイング、インスタレーションを往還しながら制作する。主な展示にゲートインスティテュート主催「ひとり(ぼっち)」や、六本木アートナイト2025、など。また、Festival of Animation Berlinでのメインビジュアル・展示・WS・キュレーションや、Hermèsとのコラボレーション等、国内外で様々な発表。



Photo: Kyoji Agira

佐藤ことみ

さとうことみ | 1999年生まれ。秋田県出身。秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科修了。日常的とされる認識(当たり前と捉えている事象)をずらしていく、そのための余白を作る「考余学」という独自の造語をもとに研究やプロジェクト、制作を行っている。主な展示歴、個展『言葉の向こう、無効』(BIYONG POINT、秋田)『あのビル-The Former Symbolic Building-』(明徳館ビル、秋田)など。



Photo: 劉孟琛



まちだりなアトリエ



ノセユイアトリエ



佐藤ことみアトリエ



石井 亨アトリエ



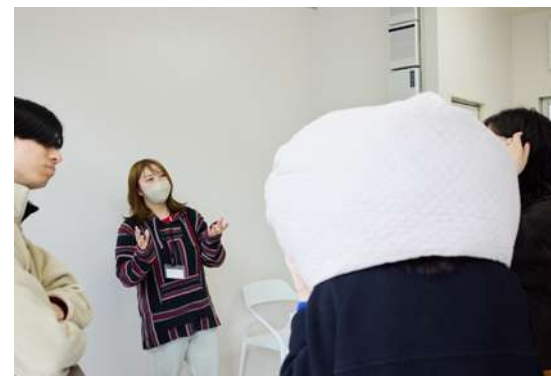
「街頭演説室」2025年
Goethe Institute Vila Kamogawa「ひとり(ぼっち)」展示風景

Photo: OMOTE Nobutada



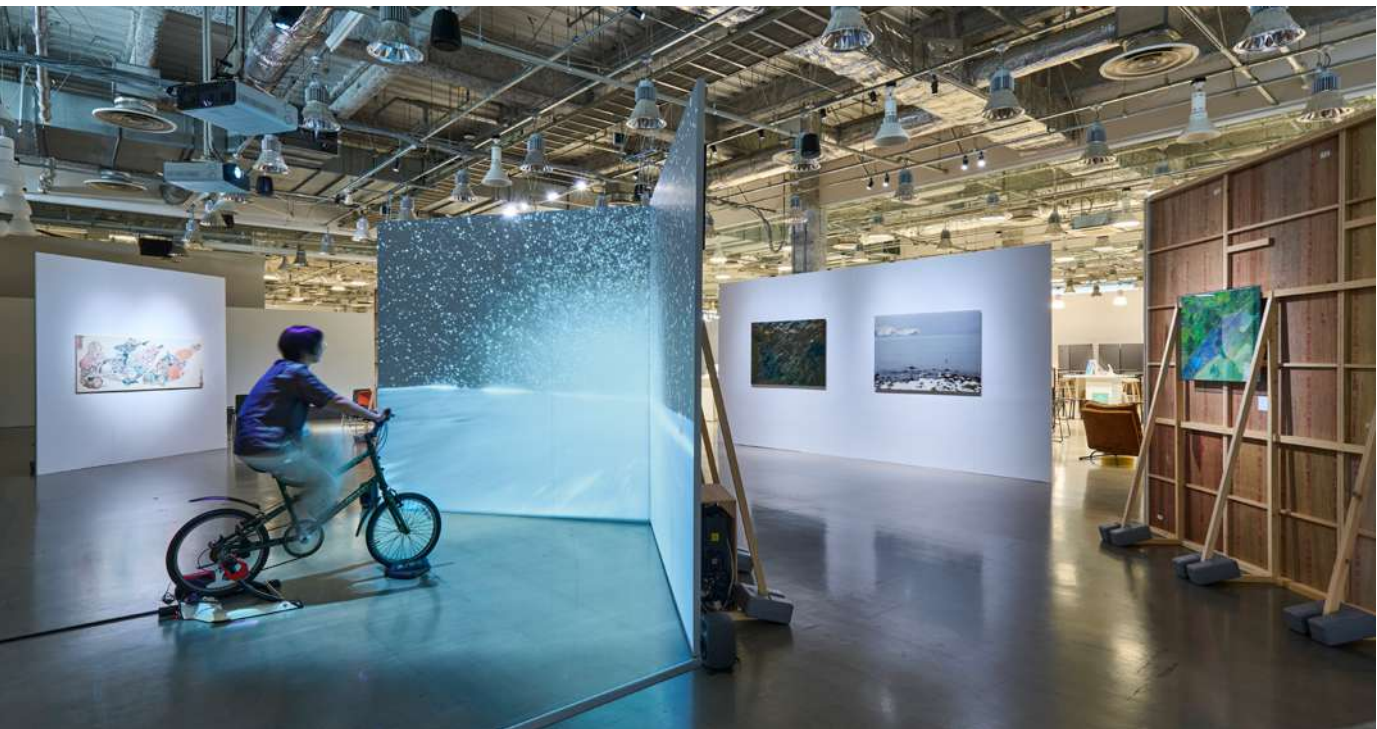
「何を見ている」2024年

第1回 オープンアトリエ 2026.3.16



05 作品発表の機会 2025

東京都が共催する文化イベント等において、START Box で活動するアーティストが制作した作品の発表の場を提供しています。



Re:discovery – from seed to form by START Box × MEET YOUR ART FESTIVAL 2025

国内最大級のアートとカルチャーの祭典に、START Box がブース出展。

「Re:discovery— from seed to form by START Box × MEET YOUR ART FESTIVAL 2025」と題して、4名のアーティストの作品が展示されました。

会期:2025年10月10日(金)～13日(月・祝)

会場:WHAT CAFÉ 内の特設ブース

作品出展者(50音順)

Junko Awatani、尾形凌、金丸知樹、野々山裕樹

主催:東京都、MEET YOUR ART FESTIVAL 実行委員会



START Box EXHIBITION vol.4

START Boxで活動するアーティストの作品発表の機会として、有楽町アートアーバニズム YAUの協力を得て、「START Box EXHIBITION vol.4」を開催いたしました。9名のアーティストの作品展示、ギャラリートツアー、ゲストを交えた出展作家とのディスカッション、トークイベントも実施。4回目となる今回は、世界中のイノベーションの結節点を目指す「Tokyo Innovation Base (TIB)」で開催しました。

2025年8月23日(土)～31日(日)

会場：Tokyo Innovation Base 1階(千代田区丸の内3-8-3)

参加作家(50音順)

大久保迪子、尾形凌、國分蘭、小林誠一、齊藤隆嗣、笹原花音、馬淵一樹、眞鍋美祈、山田ゆり

《特別イベント》

・YAU SALON Vol.34「思考のはじまりとカタチになるまで」
芸術文化活動に従事する人々を迎え、国内外で事業を展開する企業や団体等との交流を深める対話イベント「YAU SALON」を開催。
登壇者：南条嘉毅(アーティスト)、鶴岡優子(寺田倉庫株式会社広報グループリーダー)

モデレーター：深井厚志(YAU)

・アーティストトーク

ゲストに松本美貴子氏(ポーラミュージアム アネックス ディレクター)を迎え、出展者によるアーティストトークを実施。

[その他イベント]

・START Box × TIB 対話型鑑賞交流プログラム
ファシリテーター：小田川悠(美術鑑賞ファシリテーター)
・ギャラリートツアー

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画協力：有楽町アートアーバニズム YAU
会場協力：TIB (Tokyo Innovation Base)



YAUとは

NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、三菱地所株式会社により組成された「YAU(やう、有楽町アートアーバニズム[Yurakucho Art Urbanism])」は、2022年2月1日よりスタートした、アートを軸にしたイノベーション創出のプラットフォームです。アーティストも、ワーカーも、企業も、来街者もみなフラットな立場で、自身の資源を持ち寄り、都市に創造的イノベーションを起こすことを目的としています。日本有数のビジネス街であり、日比谷・銀座との結節点でもある大手町・丸の内・有楽町(大丸有)エリアを舞台にして、そこに集う人々すべてにとっての創造的なシーンとなることを目指しています。

START Box EXHIBITION vol.5

START Boxで活動するアーティストの作品発表の機会として、有楽町アートアーバニズム YAUの協力を得て、「START Box EXHIBITION vol.5」を開催いたしました。5回目となる今回の会場は、令和7年10月に開設されたYAUの新たな拠点「YAU CENTER ぜにがめ」。2会期合わせて11名のアーティストの作品を展示し、トークイベントや対話型鑑賞などのイベントを実施しました。

会期I 2026年2月25日(水)～3月2日(月)

会期II 2026年3月4日(水)～3月9日(月)

会場：YAU CENTER ぜにがめ(千代田区大手町 2-6-3)

参加作家

会期I イム ジェヨン、unu、大谷理佳子、加藤美実、篠原 奏
会期II すずきあゆみ、早田憲康、中村隆行、野中美里、
松浦美桜香、森川 遼久

《特別イベント》

・アーティストトーク

ゲストに松本美貴子氏(ポーラミュージアム アネックス ディレクター)を迎え、出展作家によるアーティストトークを実施。



[その他イベント]

・オープニングイベント

各会期初日に、出展作家による作品解説に加えて作家との交流ができるイベントを実施。

・対話型鑑賞交流プログラム

ファシリテーターに小田川悠(美術鑑賞ファシリテーター)を迎え、作品への理解や関心を深めるイベントを実施。

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
企画協力：有楽町アートアーバニズム YAU



START Box EXHIBITION 来場者の声

駅からのアクセスも良く、気軽に見に来ることができました。大きな絵や、立体の作品など、様々なジャンルの作品を見ることができたので、とても楽しかったです。静かな空間で見ると大きな絵はとても迫力があり、見応えがありました。創作へのいい勉強になりました。

対話型鑑賞イベントに参加し、新しい視点を獲得することができました。

思いがけぬ場所でアートに触れることができました。

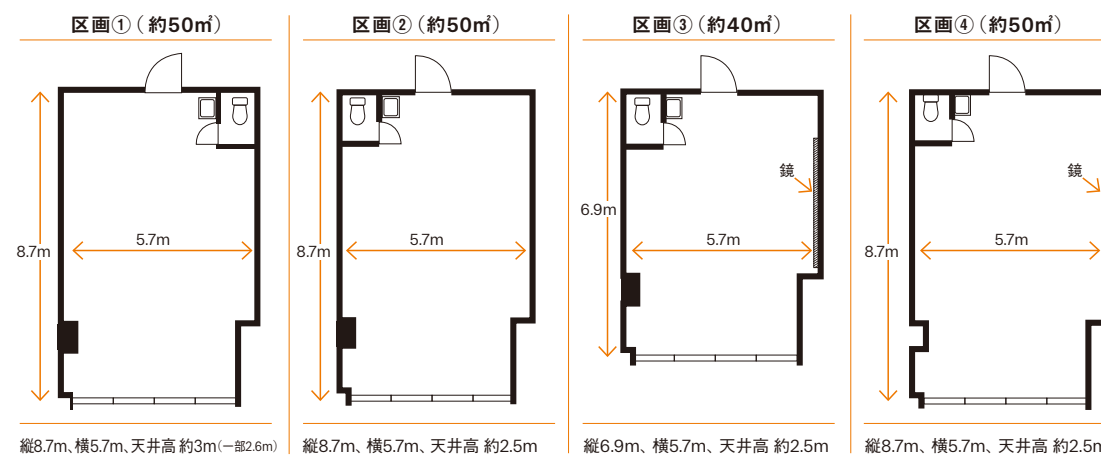
展示構成やライティング、作家、作品の多様性がよかったです。



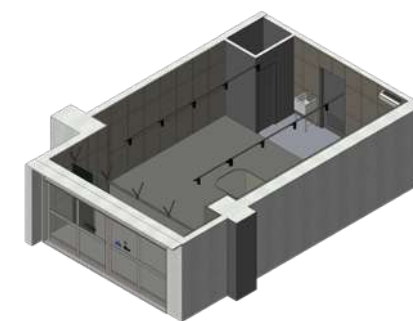
06 START Box 白鬚 [稽古場] 2025



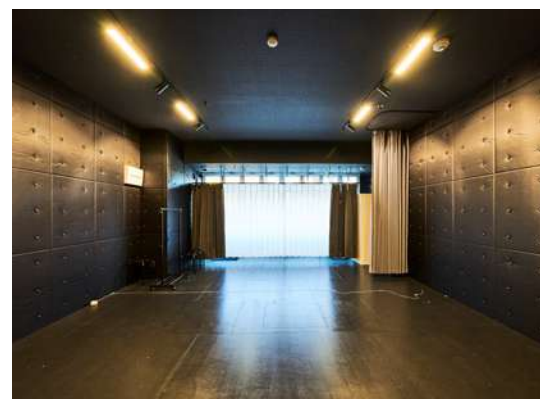
墨田区堤通にある都営住宅の空き店舗を活用した演劇・舞踊等の舞台芸術分野の創作スペースです。交流スペースや作業場もご利用いただけます。



[その他の主な設備] 乾式二重床、簡易防音仕様、冷暖房設備、トイレ、流し台、Wi-Fiなど



東京都墨田区堤通二丁目3-2
都営白鬚東アパート
(東武伊勢崎線「東向島駅」から徒歩約12分)



2025年度 稽古場利用アーティスト

2026.1.6-1.29

三転倒立 (演劇)

さんてんとりつ|桜美林大学を卒業したメンバーを主とした演劇団体。
2022年設立。社会の中で居ないことにされる人々や、日々がどうなっても続いていくことに目を向け、劇場の内と外が地続きであることを意識した作品を創作している。カフェや公民館、ギャラリーなど、劇場に限らず様々な性質をもった空間で上演を行う。
王子小劇場ショーケースへの参加作品『(なみだ)』で佐藤佐吉賞2024優秀作品賞を受賞。作品ごとに俳優や観客との関わり方を更新しながら、持続的な創作環境、体系を探し続けている。



Von・noズ (舞踊)

ぼんのーず|上村有紀と久保佳絵による2人組のダンスカンパニー。身体的な「動作」を表現のモチーフとし、さまざまな動作が持つ日常的な意味や機能を拡張していくことで、ダンスそのもののドラマを創出する手法を特徴とする。国内外で作品の上演を行うほか、近年はコラボレーションも多く行う。また、世代間交流を目的とした異世代へ向けたダンスワークショップや作品創作を行いながら、身体の可能性を探り続けている。



撮影：齊藤優作

SR/Yuria Onishi (舞踊)

えすあーる/ゆりあおおにし|主宰の大西優里亜を筆頭に、青柳潤、丹波南美の3人で構成されるアートプロジェクト。2024年に発足し、主催公演のみならず作品も交えたWS企画などを開催している。大西のバックグラウンドでもあるシアタージャズダンスとコンテンポラリーダンスが作品の軸となる。このシアタージャズダンスの持つエンターテインメント性とコンテンポラリーダンスの持つアート性の融和を、第三者である観客からの視点に着目して創られる作品が特徴的。空間に対する演者と観客の関係性にアプローチした劇場空間の一体化を目指し、コンテンポラリーダンスに触れたことがない方でも、作品に入り込める親しみやすい空間創作を目指す。



他1団体



2026.2.3-2.26, 3.3-3.26

劇団あはひ (演劇)

げきだんあわい|2018年結成。
古典を下敷きにした、挑戦的かつユーモラスな作風が特徴。
大学在学中に、劇場史上最年少で本多劇場に進出し、東京芸術劇場、KAAT 神奈川芸術劇場、金沢21世紀美術館、豊岡演劇祭などで次々と作品を発表。
時間の流れやアイデンティティの揺らぎといった、人間の存在や知覚に関する根源的なテーマを、空間的かつ構造的に立ち上げる。
読売演劇大賞、Corich 舞台芸術祭グランプリをはじめ、受賞歴・採択歴多数。



2026.2.3-2.26

譜面絵画 (演劇)

ふめんかいが|「観客における新たな体験性(ライブ性)」を制作目的とする。その場で生まれる体験性の濃度を高めるため、会場や土地の文脈・観客のイメージを介し、想像力が会場空間から外(観客個人の生活など)に広がり、上演に大きなうねりが生まれるような作品したいと考えている。そのため、劇場に限らず、ギャラリー、寺院、スタジオやカフェなど、様々な空間で作品と空間がフィットした上で互いにシナジーが循環するような上演を目指して創作および発表をしている。



撮影：河口敢太

長瀬善則 (音楽劇)

ながせよしのり|1995年岐阜県生まれ。2018年、慶應義塾大学経済学部卒業後、金融機関に新卒入社。2021年、パークリー音楽大学音楽経営学修士へリモートで進学/卒業(Dean's List)。2023年よりロンビア大学経営大学院(MBA)にフルタイムで在籍しながら、パートタイムでジュリアード音楽院 Extension Program に在籍し、DTM/音楽制作を Anthony Barfield 氏に、ピアノを Lisa Yui 氏に師事。現在は音楽プロダクションでの楽曲制作や、コンサート/音楽ラジオ出演等、様々な音楽企画に従事。



海賊のように飲む会 (演劇)

かいぞくのようにのむかい|2010年から活動している。カワモト文明主宰、メンバー6人の本気で遊ぶコンセプトにした演劇集団、年に1回の本公演と複数回のイベント公演を主に活動しています。観て頂いた人それぞれの感覚で作品のメッセージを受け取ってもらい、何となく考えて少し思い出して笑って、少しでもいいから元気になって、少しでも前に進んでくれたらという思いで作品作りをしています。



燦燦たる午餐 (演劇)

さんさんたるごさん|演劇×展示のたのしい集まり。「少女」というモチーフを軸に、ファンタジックかつダークな世界観を舞台作品と美術展示の双方からアプローチする。2022年『安住と額縁』(迴トラテツ個展&朗読劇)、2023年『ジュンブライド・オフィーリア』(演劇)、2024年『憧憬の足跡』(絵画の公募展と演劇)、2024年『凌霄花の家』(演劇)



『ジュンブライド・オフィーリア』舞台写真(2023年)

キュイ (演劇)

綾門優季(あやとゆうき)|1991年生まれ、富山県出身。劇作家。キュイ主宰。2011年、キュイを旗揚げ。
2013年、『止まらない子供たちが轢かれてゆく』で第1回せんだい短編戯曲賞大賞を受賞。
2015年、『不眠普及』で第3回せんだい短編戯曲賞大賞を受賞。
2019年、『蹂躪を蹂躪』で第10回せんがわ劇場演劇コンクールにて、劇作家賞を受賞。
2021年度より、日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師。



『蹂躪を蹂躪』2023年 撮影：三浦雨林

ハングリーハンガー企画 (演劇)

2025年4月『ヨークシャーたちの空飛ぶ会議』上演。
2025年8月『ぼんこ'sキッチン』上演。
よりよい社会への提言のために演劇をする団体です。





STARTBox

公式ウェブサイト



公式 Instagram



公式 X



〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-28九段ファーストプレイス5階・8階

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

TEL: 03-6256-8430 (代表)

E-MAIL: startbox@artscouncil-tokyo.jp

発行: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

発行日: 2026年3月31日

写真: 中田樹、藤島亮

